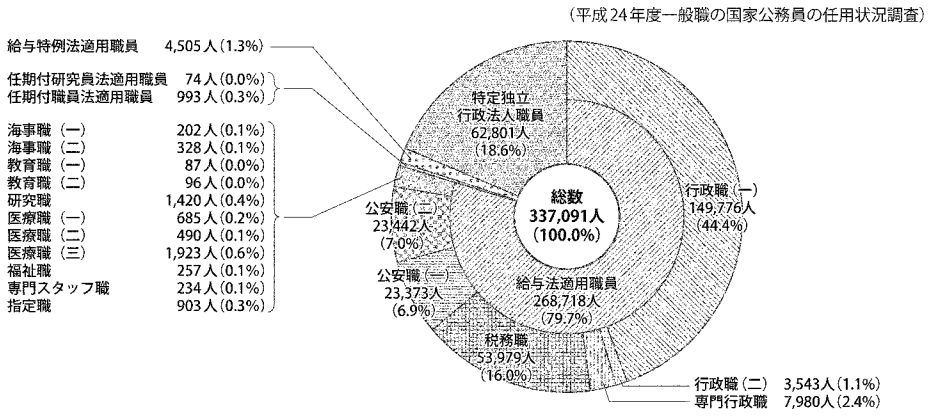
図１－２　職員の俸給表別在職状況（平成25年１月15日現在）



在職者のうち、採用試験に合格して記載された名簿から採用された者（以下「試験任用者」という。）の総数は243,305人（男性202,870人、女性40,435人）である。これを試験の種類別にみると、総合職試験（院卒者試験）による者は５人（試験任用者全体の0.0％）、総合職試験（大卒程度試験）による者は３人（同0.0％）、一般職試験（大卒程度試験）による者は216人（同0.1％）、一般職試験（高卒者試験）による者は８人（同0.0％）、専門職試験（大卒程度試験）による者は21人（同0.0％）、専門職試験（高卒程度試験）による者は７人（同0.0％）、Ⅰ種試験及びこれに相当する試験による者は16,230人（同6.7％）、Ⅱ種試験及びこれに相当する試験による者は55,796人（同22.9％）、Ⅲ種試験及びこれに相当する試験による者は137,390人（同56.5％）、旧国税専門官試験・労働基準監督官試験及びこれに相当する試験による者は24,465人（同10.1％）、中級試験及びこれに相当する試験による者は9,164人（同3.8％）となっている。在職者総数に対する試験任用者の割合は72.2％であり、前年度に比べ0.4ポイント低くなっている。

また、給与法適用職員のうち、試験採用を行っている俸給表の適用職員について試験任用者の割合をみると、在職者が最も多い行政職㈠では91.8％で、前年度と同じ割合となっている。

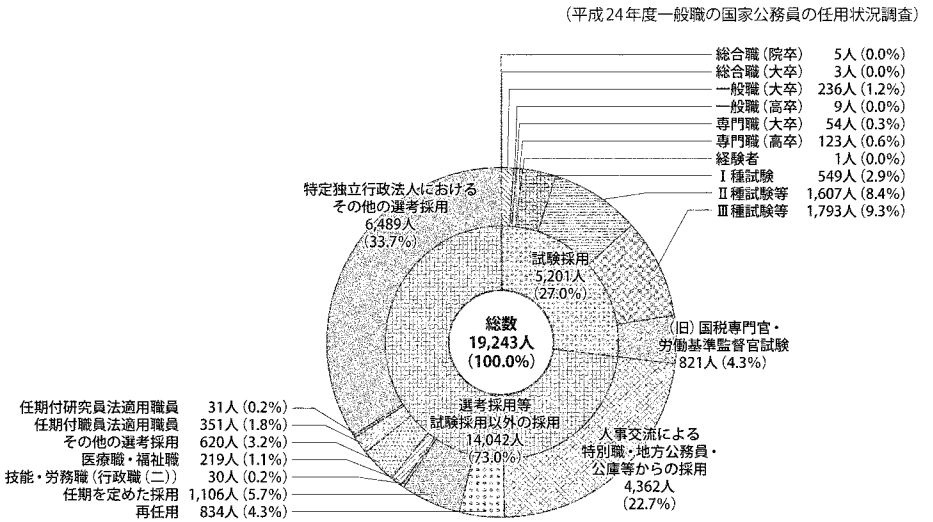
その他の俸給表における試験任用者の割合は、専門行政職68.0％、税務職98.4％、公安職㈠70.9％、公安職㈡84.2％、研究職47.5％となっている。

⑵　採用状況

平成24年度における採用者総数は、19,243人（男性11,781人、女性7,462人）であり、平成23年度に比べ2,435人増加（男性1,517人増加、女性918人増加）している。採用者総数のうち、試験採用者は5,201人、選考採用等試験採用以外の採用者は14,042人（うち、再任用834人、任期付採用1,488人、特別職職員、地方公務員、非特定独立行政法人職員、国立大学法人職員及び公庫、公団又は事業団等職員（特・地・公等）からの人事交流による採用4,362人、特定独立行政法人におけるその他の選考採用6,489人、国の機関におけるその他の選考採用869人）となっている（図１－３）。

なお、特定独立行政法人では選考採用者が多いが、これは、独立行政法人国立病院機構などにおいて採用試験になじまない医療職の職員が大半であることによるものである。

図１－３　平成24年度における職員の採用状況



最近５年間の採用者総数を男女別構成比でみると、女性の割合はおおむね30％台後半で推移しており、平成24年度は38.8％である（図１－４）。

図１－４　最近５年間の採用者の男女別構成比

